

ねんかんだい 13<sup>しゅじつ</sup>日 きょうのふくいんしょ (マタイ10. 37~42)

6がつ14かは、4がつによていしていたはつせいたいがコロナウイルスのためにできなかったので、やっとごせいたいのしゅくじつに、4にんのおともだちがイエスさまをはじめていただくことができました。ほんとうにうれしかった。たぶんごミサにきていたみんなが、いっしょにごミサにあずかることといのることができましたね。

これからは、じぶんのちくはなんじのごミサにあたっているのかをよくみて、かならずごミサにきてね。きょうかいがっこうがおやすみになっても、ごミサにあずかりましょうね。イエスさまがまっついてくださるからです。みなさんがいかなかったら、イエスさまを「まちぼうけ」にさせてしまいますよ。

きょうのふくいんしょのはじめは、すこしむずかしいので、40せつからかきます。

「あなたがたをうけいれるひとは、わたしをうけいれ、わたしをうけいれるひとは、わたしをつかわされたかたをうけいれるのである。よげんしゃをよげんしゃとしてうけいれるひとは、よげんしゃとおなじむくいを受け、ただしいものをただしいものとしてうけいれるひとは、ただしいものとおなじむくいをうける。はっきりいっておく。わたしのでしというりゆうで、このちいさなもののひとりに、つめたいみずをいっぱいでものませしてくれるひとは、かならずそのむくいをうける。」

「むくいをうける」ときくと、どんなみだらうとおもうかもしれません。つぎにひとつのはなしをかきますので、しっかりとよんで、そのひとは、どんな「むくい」をうけたのかを、またきかせてね。

あるくには、イバンくんという、ひとりのおとこのこが、おとうさんとおかあさんとくらしていました。とてもあわせなまいにちをおくっていました。とつぜんおとうさんとおかあさんはじこにあつて、ふたりともなくなりました。イバンくんはひとりぼっちになったので、こどもをあずかるしせつにはいることになって、そのしせつでくらしていました。とてもすなおなこで、はたらきもので、みんなとなかよくできていたし、なにをしても、いつもいっしょうけんめいでした。しかしイバンくんはめがとでもよわかったので、ドンドンわるくなるばかりでした。めいしやさんにいったら、メガネをかけたほうがいいですよとすすめられましたが、メガネをかうおかねがなく、イバンくんはがっこうのかえりにアルバイトをしてメガネをかうために、おかねをためていました。ためたおかねをもってメガネやさんにいきましたが、じぶんがもっていたおかねよりも、メガネがもつたかかったので、かうことができなくてかえることにしました。おみせからだと、ひとりのひとにであいました。きているものはポロポロで、あまりたべてないようで、とてもやせていました。そのとき、じぶんがメガネをかうためのおかねをだして、じぶんよりももつこまっているひと、そのひとにあげました。メガネやさんのおみせのそばでしたので、おみせのおじさんはイバンくんのやったことをみていたので、かんどうして、なみだぐんでかれにいいました「どうぞおみせにはいってすきなメガネをえらんでもつてかえてください、おかねはいらないから」といいました。イバンくんとおみせのおじさんも、きょうはイエスさまのおっしゃっていたことをおこなうことができ、こころのなかで、へいわとよろこびをもらいました。またイバンくんは、やったことにたいして、「むくい」をうけることができました。よいことをすると、2ばいも、3ばいもふえますね。

このはなしをよんで、どうおもいましたか、イエスさまがいつていることは、おおきなことではなくて、ちいさなことをしても、かならず、いいもの{むくい}(よいもの)をうけるということ。みんながんばりましょうね。